



学校だより

しき いろど たての
四季を彩れ 立野tree

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

あか き あお ほんき はなが さき 5月26日(金) ぜんこうじどう がっこうに 揃い、 おもいきり 声を出しての
うんどうかい 4年ぶりでした。子どもたちが元気に参加できるよう、毎日学校に送り出していただいた保護者
のみなさま、練習の音や放送等をご理解いただいていた地域のみなさま、大きなご支援をありがとうございました。
なかおだいちゅうがっこう から テントを貸していただき、早朝からおやじの会のみなさまに設営していただいたお
かげで、ぜんこうじどうが ひさしをよけて 活動に取り組みすることができました。会場係等でも保護者ボランティア
のみなさまにご協力いただきました。ありがとうございました。

ゴールを駆け抜ける姿にも、結果がふるわず涙する姿にも、一瞬にかける子どもたちの本気がはじ
けていました。「カモンカナガワン」「ツバメ2023」「立野ソーラン」に仲間と一緒に取り組む楽しさや張
り合いも感じました。メリハリの利いた応援は、自分の組の色を声の限りに応援するとともに、みんなが
一つになって立野小学校を盛り上げようとする意欲と熱中を感じました。勝敗の先にあるものを、子ども
たちはもともと取り組んだように思いました。保護者・地域のみなさま、ご参観ありがとうございました。

当日の子どもたちの姿も素敵でしたが、練習も立野の子どもたちの成長の機会でした。「振り返り」
と「教え合い」です。はじめはお互いにぎこちない様子でしたが、教え合うことを楽しみ、お互いが関わり
合うことで技術も、「運動会を楽しみたい。頑張りたい」という思いや願いも、振り返りを重ねるごとに
高まりました。「青春は密だから…」と語った高校野球の監督の言葉通り、運動会などの行事は子どもの
密な時間と空間を大切にすること、大切な取り組みであると改めて感じさせてくれました。新型コロナウイルス
感染症の影響の大きさを感ずるとともに、子どもの本気を発揮させる機会を大切に学校の教育活動にと
り組んでいきたいと思いました。さらに改善に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想等
いただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

【横浜大空襲】

1945年5月29日、横浜にアメリカの爆撃機B29が500機以上飛来して、横浜市の中区、
南区、西区、神奈川区を中心に無差別爆撃を行い、多くの方々が死亡し横浜が焼け野原となってから
78年がたちます。校長室にある創立100周年記念誌にも当時を知る方の体験談が記載され、朝会
でも紹介させていただきました。炎上する横浜の市街地の写真と現在のウクライナの映像が重なります。

過去の事実が私たちが生活する現在へつながっていることに気付く機会は、意識しないと通り過ぎてし
まいがちです。子どもたちが様々な出来事に対し関心を持ち、多様な見方や考え方を聞いて、考えよう
とする意欲を高めること。人の意見に耳を傾け、共感し、より良く生きようとする力を育てられるよ
う、様々な学びの機会を大切に組み込んでいきたいと思っております。

今月も、よろしくお願いいたします。